

西特だより

ホームページ

インスタグラム



是非、御覧ください！

たくさんのエコキャップが集まりました！

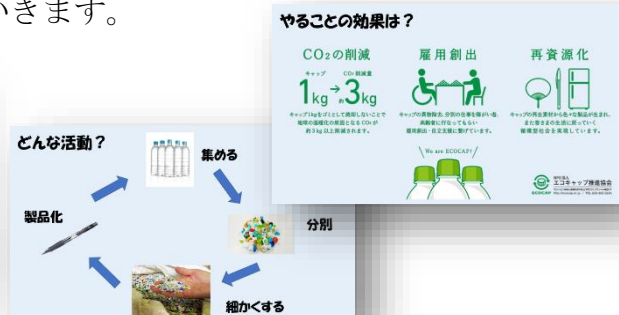
今年度も中学部・高等部生徒会、小学部児童会を中心にエコキャップ運動を行いました。始めるにあたり、高等部の生徒会が「SDGsとは?」「エコキャップ運動の効果とは?」ということのパワーポイントを作成して、中学部生徒会、小学部児童会のメンバーに話をしました。「なぜエコキャップ運動をするのか」を知った上で、各学部にエコキャップ運動の協力を呼び掛けました。中学部では、生徒会でポスターを作ってお知らせしました。たくさんの協力があり、小学部 8.6 kg、中学部 15.6 kg、高等部 12.8 kg、全校で 37.0 kg（およそ 14,800 個）のエコキャップを集めることができました。次回は 12 月 18 日（月）～12 月 21 日（木）に行います。今後もこの活動を継続し、SDGs の学びを深めていきます。



↑ 中学部の様子



↑ 生徒作成のポスター



↑ パワーポイントの資料

医療的ケアってなあに？

医療的ケアとは、一般的に学校や自宅などで日常的に行われる医療的生活援助のことを言います。医療的生活援助の中には、呼吸に関する痰の吸引や栄養に関する経管栄養（口から栄養が摂れなかったり、足りなかったりするときに管を使って栄養を摂る方法）、排泄に関する導尿（管を使って排泄をする方法）などがあります。

本校にも医療的ケアを受ける児童生徒が多数在籍しています。そして、児童生徒の教育面、安全面を支え、充実した学校生活が送れるよう、現在 8 人の学校看護師が勤務しています。

児童生徒は、看護師のことが大好きで、看護師と話をするときやケアのときにはにこにこ笑顔です。看護師の方々も児童生徒の笑顔に癒され、日々の成長を感じています。



(給食時の吸引の様子)



(水分補給の注入の様子)



(経管用の栄養剤と物品の一部)

☆小学部☆ 防災体験・訓練を行いました！



非常食体験を行いました。各御家庭でお子さんに適したものを準備していただきましたが、日頃、食べ慣れない食事だからか、食べる前にパッケージを見てこれは何かと不思議そうな表情をする児童もいました。食べるときには「おいしい。」と言いながら食べる児童やゆっくりと口を開けて慎重に食べる児童の様子が見られました。

非常時に少しでも安心・安全に過ごす備えにつながる体験となりました。



☆中学部☆ 体験を広げる授業「キャンプに行こう！」

生活単元学習の授業で「キャンプに行こう！」の活動に取り組みました。芝生のマットの上で、草原に寝転がる感覚や、玉石と水を入れた洗面器で河原にいる感覚を味わい、まるでキャンプに出掛けたかのような体験をしました。芝生のマットは、サイバーホイールという大型遊具の中に敷いて、その上で横になったり揺れを感じたりしました。

生徒たちはその感覚をじっくりと味わい、表情や体の動きで自分の気持ちを教師や友達に伝えていました。



☆高等部☆ 段差はある？エレベーターの広さは？

総合的な探究の時間では、浜松市が車椅子使用者にとってユートピア（理想のまち）となることを目指して探究を行っています。

9月には浜松市の店舗・施設におけるバリアフリーの状況を調べるために校外学習に出掛けました。いざ行ってみると「思っていたより〇〇！」

ということが多くありました。電動車椅子に鞆を掛けていると入れないエレベーターがあり、「思っていたよりも狭いエレベーターがあるんだ。」という発見から、「エレベーターって規定はあるのかな？」「その規定に合わせて車椅子は作られているのかな？」など疑問を持ち帰ることができました。数ある課題を調べたり話し合ったりして、解決方法をまとめていきます。



☆訪問教育☆ タブレット端末をフル活用！視線入力にも挑戦中！

訪問教育では、タブレット端末を活用した授業を多く行っています。楽器の音が出たり、きれいな映像が映ったりするアプリケーションを使うことで、画面に視線を向ける、注意して見続ける、自ら手を伸ばすなどの、主体的なあらわれを引き出すことにつながっています。

視線の動きだけで選択やデータ入力ができる視線入力装置の取り組みも始めています。今後、自己決定やコミュニケーションの一つの手段になるよう、引き続き実践を進めていきます。

